



ファミリー サポート センター

F S C
会員だより

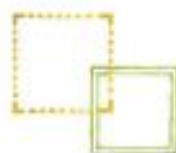
2026. 8 NO. 37



こどもの心と身体を守るために ～性教育の観点から～

講師：ゆりかご助産院

西田三佳子 助産師



～乳幼児期の子育ては性教育のスタート～

～「いいタッチ」と「ダメなタッチ」～

① 「からだ」について知る

男の子と女の子のからだのちがい
おとなとのからだのちがい

② 「いのち」について知る

赤ちゃんはどこからくるの

③ こころとからだをまもる

プライベートゾーンについて
いいタッチとダメなタッチ
やめて！いや！ダメ！といえるように

「いいタッチ」とは

心地よく、安心・信頼できる関係のタッチ

「ダメなタッチ」とは

イヤな感触で、同意なくからだやプライベート部分を
触るタッチ

トイレやオムツ交換などは、こどもに声かけをしながら
すすめていきます。安心や信頼関係が出来ていることで、
いいタッチにつながり、こどもがイヤなときは「イヤ」と
言えるように、日頃からこどもの気持ちが聞けるような
関係づくりが大切です。また、こどもが言いやすいような
環境を作っていくことも大事です。

2025年度は、初めて「性」に関する講習会を行いました。関連の書籍の紹介もあり、まずは性教育を学ぶ第1歩として、参加者と共有しました。

性教育は、よりよく生きるための「生」教育であり人権教育ともいえます。大切なことは「自分が大切だと思える心を育てること」「ありのままの自分がかげがえのない存在であり、大切にされる存在であると思える心を育てること」「他人に対して尊重し大切にできる心を育てること」「こどもにも権利があり、ひとりの人間として尊重されるべき存在であるということ」を学びました。人は、大切にされることによって慈しみの心が育つということを、あらためて考える貴重な時間でした。



福山市ファミリー・サポート・センター

ホームページはこちら

〒720-8636 福山市元町1-1（天満屋福山店8階）

ふくやま子育て応援センター「キッズコム」内

【開館時間】 午前10時～午後6時

TEL (084) 932-7285

【休館日】 月曜日（祝日の場合は翌日）

FAX (084) 928-8618



援助活動の様子

○さんの活動内容



平日、朝の預かりとバス停への送りを6年間、ほぼ毎日（長期休み以外）援助をしてくださいました。

朝ドラの主題歌が流れると、
座って体を音楽に合わせて揺れて
いました。かわいかったよ。

座布団をギュッと抱っこしたり
寝転んでみたり・・・
座布団と仲良くしていました。



援助最終日

今日もK君と座布団はセットでした。
6年経つと我が家にK君がいてあたり前。
一緒に遊ぶし、ダメな事は注意する。家族の一員
として馴染んでいました。
明日は卒業式ですね。家族全員で成長を喜び
たいと思います。長い間、素敵な時間を
ありがとうございました。

援助最終日の エピソード

援助最終日、ママとK君がニコニコして家に来られたので、「何かいいことがあり
ましたか?」と尋ねると、K君が初めて「ママ!ママ!」と言ってくれたそうです。
まだいつかK君に会った時に、今度は「○さ~ん」と言ってくれるかな?
今から楽しみにしています。

Sさん (依頼会員)より

小学1年生から6年間お世話になりました。
目が離せない子で、困らせたことや、心配をおかけ
することも多々ありましたが、いつも「こども1番」
に考えて下さり、何より可愛がってくださって、毎朝
安心して預けていました。

家族のみなさんで可愛がっていただき、本当に
感謝しています。ありがとうございました。

○さん(協力会員)より

継続の援助だったので、初めはお互いに戸惑いが
あったかもしれませんが、そのうち、K君がいる事が
普通になり、家族みんなでK君を家族の一員として受け
入れていきました。初めは、言葉でのコミュニケーション
をとることが難しく、お互いに困った事もありましたが、
K君の日々の行動を私たちおとながくみ取ることで、意思
疎通をとることが出来てきたと思います。

また、毎朝同じバス停で会うお友だちの祖父母とも顔なじ
みになり、色々なことで意気投合し、今後も引き続きお付き
合いをしていただくことになりました。K君の援助を通じて
の新たな出会いに感謝しています。

センターより

○さんをはじめ、ご家族のみなさまが温かい笑顔でK君に寄り添いながら、サポートしてくださり
本当にありがとうございました。職員一同、心より感謝申し上げます。

また、K君のお母さんより「自分に出来ることがあれば」と、次は協力会員として活動したいと、
うれしいご報告もありました。地域での助け合い!これこそが「ファミ・サボの基本」ですね。
これからも、ずっとご縁が続くことを願います。ありがとうございました。





会員インタビュー



ファミ・サボを知ったきっかけや、活動しての感想などを、会員さんに聞いてみました！



ファミ・サボの事は、家族や福山市の公式 LINE や SNS などでも知りました。今どきの子育てについて知ることができて、自宅でボランティア活動ができるのは良いと思いました。以前、援助したご家族が、知り合いにファミ・サボの利用を勧めて、その方の援助を行った事もあります。繋がりが（ご縁）を感じます。

協力会員 Kさん



児童館を調べていた時に、ファミ・サボのことをインターネットで知りました。最初は、プチ預かりの依頼でした。こどもが人見知りで泣いたりしないか不安でしたが、協力会員さんに、「大丈夫ですよ」と言っていただき、安堵しました。その後、夫婦のどちらかに仕事が入り、一人でこども2人をみなければいけない時など、協力会員さんに自宅へ来てもらいサポートしてもらっています。こどもと1対1で遊んでもらい助かっています。

依頼会員 Nさん

ファミ・サボで活動している友人からの紹介でこの活動を知りました。プチ預かりは、センター内での活動のため、いざという時も、スタッフのヘルプがあり、安心して楽しく援助ができています。援助をする時は毎回、こどもと初めて接するような感じで、気持ちを引き締めて対応するように心がけています。

協力会員 Hさん

「プチ預かり」利用してま〜す！

他都市から転居し、こどもの遊び場を探していた時に応援センターのファミ・サボ事業を知りました。上のこどもを習い事に連れて行っている間、下のこどものプチ預かりを利用しています。実家も遠いので、すごく助かっています。

息子ものびのび過ごさせていただき、今、お世話になっている2人の協力会員さんには、感謝しています。

依頼会員 Tさん



Tさん親子

読み聞かせの時、お膝の上で絵本を見たり曲に合わせて体を動かしたり、笑顔で楽しんでいました。今日はカエルのTシャツを着ていて、絵本の読み聞かせにもカエルが登場して、今日はカエル day でたくさんのカエルとの出会いがありました。R君と遊んで楽しかったです。（報告書より）

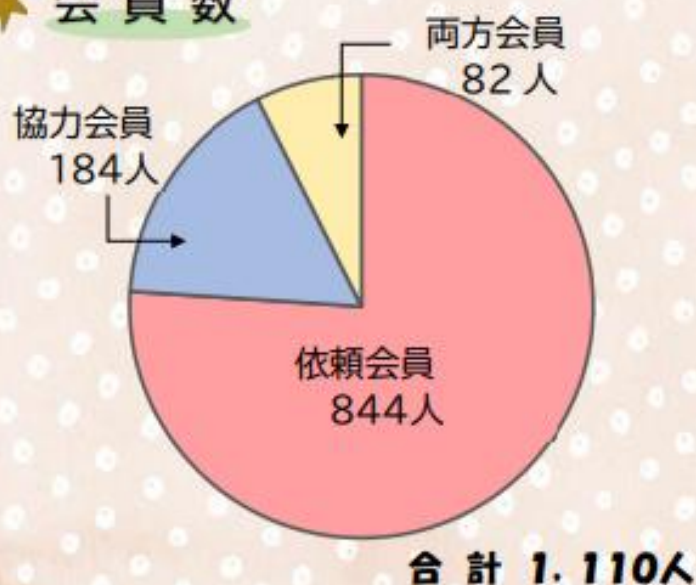
協力会員 Iさん



活動報告

2026. 3. 31

★ 会員数



★ 主な援助内容【BEST 3】

1. こどもの習い事への送迎
2. 依頼会員宅での援助
3. 保育施設等への迎え及び帰宅後の預かり

★ 活動件数

2, 137件

協力・両方会員のみなさまへ

「児童虐待防止講習」の受講が必須項目になりました！

この度、国の実施要綱の改正に伴い、協力・両方会員のみなさまは「児童虐待防止講習」の受講が、必須となりました。それに伴い、虐待を行っていない、今後もしない旨の確認として「宣誓書」への署名も必要となりました。ご理解、ご協力をお願いします。

※「緊急救命講習」「事故防止講習」と同様に、積極的な参加をお願いします。

おねがい

★ 住所や電話番号・お子様の誕生など登録の変更はありませんか？

変更した時は、必ずセンターへ連絡してください。住所不明のまま1年経過した会員は退会になります。

★ 依頼するときは必ずファミリー・サポート・センターへ連絡しましょう。

依頼する場合は、必ずセンターを通してください。やむを得ず、協力会員に直接依頼した場合は、センターに必ず連絡してください。お互いに安心して活動を行うためにご協力をお願いします。

(報告のない活動には補償保険が適用されません)

★ 報告書の提出を忘れていませんか？

協力・両方会員は、活動後「活動報告書」を作成し、翌月の5日までにセンターに提出してください。